

広島市立瀬野川中学校 国語科 年間学習指導計画

第 1 学年

月	単元・題材名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の観点
4	1 学びをひらく				
	野原はうたう	3	4つの詩を朗読し、情景や心情を探る。	朗読の注意点や工夫点を見つけ、情景や心情を理解できる。	1・2
	『花曇りの向こう』	4	情景や場面の展開から、登場人物の気持ちの変化をとらえる。	学習の仕方をとらえることができる。	1・4
	情報を的確に聞き取るう	2	メモを取りながら、例題のＣＤの内容を正確に聞き取る。	話の基本の情報や、キーワードを正しく聞き取ることができる。	1・2
	漢字 1 漢字の組み立てと部首	2	漢和辞典を使い、漢字の成り立ちについて調べる。	主な部首の名称を成り立ちを踏まえて理解する。	5
	わかりやすく説明しよう	4	伝える目的と相手をはっきりさせ、書く材料を集める。	わかりやすく正確に伝えるために必要な材料の集め方・選び方を知る。	1・2・3
5	2 新しい視点へ				
	『ダイコンは大きな根?』	2	文章全体の構成を考え、内容をとらえる。	文章の展開に即して内容をとらえ、要旨をまとめることができる。	1・4
	『ちょっと立ち止まって』	4	各段落の説明内容を、問題意識をもって読み取る。	文章を読み、ものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くする。	1・4
	言葉 1 話し言葉と書き言葉	2	話し言葉と書き言葉の違いと共通点について発表し合う。	相手や状況を考えて、適切に言葉を選ぶことができる。	1・2・5
	「好きな物」を紹介しよう	4	話題について取材をし、スピーチの会を開き、順番に発表し、評価しあう。	自分の考えをわかりやすく発表したり、話し手の話の内容を聞き取ることができる。	1・2
	◎書写<楷書>	1	正しい姿勢・執筆法、用具の扱い方などを学習する。	筆使い、筆順、字形について教材をもとに理解できる。	1・5
6	◎書写<硬筆>	2	字形・筆順に気をつけて文字を書く。	字形のしくみや筆順のきまりを理解して書くことができる。	1・5
	3 言葉をつなぐ				
	詩の世界	2	内容や特徴がよくわかるように朗読する。	語句の意味を文脈の中で正確にとらえ、工夫して朗読できる。	1・4
	言葉を集めよう	2	表現に気をつけて、推薦文を書く。	教科書の作品などから、言葉の表現ついて考え、自分の考えを聞き手によりよく伝えられる表現を選ぶことができる。	1・5
	『空を見上げて』	4	言葉の表現の楽しさを味わい、読書意欲を喚起する。	登場人物の性格や人間関係を的確に読み取り、自分の意見をもつことができる。	1・4
	文法への扉 1 言葉のまとまりを考えよう	4	文章・段落・文・文節・単語などの単位を知る。	言葉の単位とその働きについて理解することができる。	1・5
9	※ 読書生活を豊かに				
	読書案内	1	学校図書館へ行き、利用方法について学ぶ。	様々な種類の本を知り、読書習慣を身につける。	1・3
	私が選んだこの一冊	3	読書紹介カードを作成する。	読み手が読みたくなるような読書カードを作成することができる。。	1・3
	『光る地平線』	1	作品を読み、感想を発表し合って、行動や心情について話し合う。	場面や経過、展開をとらえ、情景や心情を読み味わう。	1・4
	◎書写<毛筆・楷書>	4	平仮名と漢字の調和に気をつけて毛筆で書く。	平仮名と漢字の線の特徴に気づき、調和よく書くことができる。	1・5
	4 つながりを読む				
10	星の花が降るころに	3	作品を読み、感想をまとめ、場面ごとの情景などについて考える。	文章の展開に即して、場面ごとの情景を読み味わい、人物の心の変化をとらえる。	1・4
	大人になれなかった弟たちに.....	4	作品の思いをとらえ、話し合う。	時代や状況、自分を見つめていくことの大切さを考える。	1・4
	◎書写<毛筆・楷書>	4	文字の中心・字間に気をつけて書く。	文字の中心、字間に気をつけて、行を整えて書くことができる。	1・3
	調べたことを報告しよう	4	調べたことをレポートにまとめる。	情報を整理し、事実と意見を区別して文章にまとめることができる。	1・2
	言葉 2 指示する語句と接続する語句	2	指示語と接続語の働きを学ぶ。	指示語と接続語の働きや特徴がわかる。	1・5
	漢字 2 漢字の音訓	2	音読み・訓読み・同音異義語の使い分けをする。	漢字の音・訓について理解できる。	5
12	シカの「落ち穂拾い」	5	文章の内容を図表と比較しながら正しく読み取る。	事実とそれにもとづく筆者の考えを読み分けることができる。	1・4
	流れを踏まえて話し合おう	2	例題の司会者の、良いところ悪いところについて話し合う。	話題や話し合いの方向をとらえることができる。。	1・2
	5 いにしえの心に触れる				
	いろは歌	1	音読により、文語文の響きや調子に慣れる。	古典の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読できる。	1・2
	月に思う	2	古文を読み、興味や関心をもってその正解にふれる。	歴史的仮名遣いに注意して音読し、古典の文章に読み慣れる。	1・5
	蓬萊の玉の枝	5	文語の特徴を知り、物語の内容を読み味わう。	作品に表われているものの見方や考え方を理解する。	1・5
12	今に生きる言葉	3	故事成語の意味・用法を学ぶ。	故事成語の意味・用法がわかる。	1・5
	◎書写<毛筆・楷書>	4	小筆を使って、漢字・平仮名・片仮名を書く。	小筆の使い方について理解する。	1・5
	6 論点をとらえる				
	話題や方向を捉えて話し合おう	4	グループ・ディスカッションをする	自分の考えを相手に理解してもらえるように話し、相手の意図を考えながら聞く。	1・2
	文法への扉 2 言葉の関係を考えよう	4	主語・述語・修飾語の関係と文の組み立てを知る。	主述、修飾被修飾の関係と文の組み立てについて理解する。	1・5
	『幻の魚は生きていた』	4	事実と意見を読み分け、文章の構成や展開をとらえる。	文章の構成をとらえ、筆者の考えをまとめることができる。	1・4
1	◎書写<毛筆・楷書>	2	色紙や色画用紙に小筆で詩を書く。	字の大きさや配置に気をつけて丁寧な字を書くことができる。	1・5
	◎書写<毛筆・楷書>	1	「書初め」、年賀状を書く。	字の大きさや配列、配置、中心に気をつけて書くことができる。	1・5
	※ 読書に親しむ				
	『桜守三代』	1	作品を読み、感想を発表し合って、行動や心情について話し合う。	場面や経過、展開をとらえ、情景や心情を読み味わう。	1・4
	本の世界を広げよう	1	多様な種類の本を知る。他者に紹介する。	興味のある本を見つける。おすすめの本を紹介する。	1・2
	7 自分を見つめて				
2	◎書写<毛筆・行書>	4	行書の基本的な筆使いに気をつけて書く。	行書の特徴を理解することができる。	1・5
	◎書写<毛筆・行書>	4	形や方行の変化、連続に気をつけて行書に取り組む。	行書の特徴を意識して作品を仕上げることができる。	1・5
	『少年の日の思い出』	4	作品を通じて登場人物の生き方について考える。	登場人物の行動や心情を理解するとともに、自分を見つめることができる。	1・4
	言葉 3 さまざまな表現技法	2	表現技法を使って文章を書く。	体言止め・倒置・反復・対句・省略・比喩の用法と効果を理解する。	1・3
	◎書写<硬筆>	4	原稿用紙に字形や文字の大きさに気をつけて文字を書く。	既習事項を応用して書くことができる。	1・5
	感じたことを文章にしよう	3	観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように文章にまとめる。	一つの作品について、多様な観点で鑑賞できる。	1・3
3	文法への扉 3 単語の性質を見つけよう	4	自立語・付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について理解する。	単語を、自立語・付属語、活用の有無、品詞、体言と用言などで分類することができる。	1・5
	言葉を探検する	4	ポスターセッションをする。	図表やキャッチコピーなどを用いて、調べたことをわかりやすくまとめることができる。	1・2
	漢字 3 漢字の成り立ち	1	漢字の成り立ちと構成を学ぶ。	象形・指事・合意・形声の4種の漢字の成り立ちがわかる。	1・5
	『ぼくがここに』	1	表現を味わいながら、詩を朗読する。	詩の中の言葉や表現を、作者の思いを想像しながら読み味わうことができる。	1・4
	140	1 関心意欲 2 話す聞く 3 書く 4 読む 5 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			